



津田小だより

松江市立津田小学校
令和7年5月22日
校長 小林 敏朗

4月の学校だよりであいさつのことをお伝えしましたが、今月もあいさつの話題から。4月当初と比べると、最近あいさつの声が大きくなってきたとかあいさつをする子が増えてきたと感じています。私も「いいあいさつだね。」「元気いいね。」とできるだけ声をかけるようにしています。また、朝だけでなく下校時に「さようなら。」とあいさつする子も増えてきたように感じます。中には、校長室をのぞいて「校長先生さようなら。」と元気よくあいさつして帰っていく子もいます。校長室をのぞくと言えば、先日昼休みに満面の笑みを浮かべながら「校長先生遊ぼう。」と声をかけてくれた子がいました。ちょうどその日は午後から出張だったため「ごめんね。」と謝りましたが、とても素直な津田っ子の姿を見たなと思いました。津田小学校に着任して2カ月弱になります。笑顔に笑顔で返す素直な子どもたちだなという印象をもっています。先程の登下校時のあいさつだけでなく、廊下や階段ですれ違う時も笑顔で接すると、とても素敵な笑顔を見せてくれる子どもたちです。以前「人間関係は鏡である。鏡は先に笑わない」という言葉を聞いたことがあります。まずは我々教職員、大人から子どもたちに笑顔で接することを大事にしたいと考えています。兎角忙しかったり心に余裕がなかったりすると笑顔を忘れがちです。そう言えば、校舎の3階ベランダに「元気なあいさつ 明るい笑顔」と掲げてあります。あれは子どもたちだけでなく、我々大人に向かって「(子どもたちに) 元気なあいさつをしましょう」とか「(子どもたちに) 明るい笑顔で接しましょう」「元気なあいさつと明るい笑顔で子どもたちを育てましょう」というメッセージも含まれているのかもしれないですね。(勝手な私の見解です。ご了承ください。)

学校経営方針について

今回の学校だよりの次ページ(裏面)に今年度の学校経営方針を載せています。お時間のある時にお読みいただければ幸いです。その経営方針の中で「心理的安全性」を大きな柱の一つとしています。心理的安全性とは、他の人の反応に対して怖さや恥ずかしさを感じることなく、自分を包み隠さず自然体で活動していける状態のことです。すべての学級が心理的安全性の高い集団になるといいなと思っています。先日、ある学級の算数の授業を見ていると、ある子が「わかった!なんだ、そういうことだったのか。」と絶叫(?)していました。よっぽどすっきりしたのでしょう。また国語の時間には、ある子の発言を受けて先生が「どう?」と聞かれた時に「わからない。」とはっきり言っていました。また別の学級では国語の時間に「難しい。」「無理だ。」とつぶやいていました。「わかった。」「できた。」だけでなく「わからない。」「難しい。」「できん。」などの言葉も安心して出せる学級の空気は大事ななと思います。まずはこういう空気が常に流れている学級・学校づくり、集団づくりに力を入れて取り組みたいと考えています。

5月31日(土)は運動会です!

5月31日(土)は運動会を行います。1年生にとっては小学校生活初めての運動会、6年生にとっては小学校生活最後の運動会になります。特に6年生には悔いを残さない運動会にしてほしいと思います。子どもたちは応援練習や各学年の種目練習に励んでいます。応援練習では、6年生が1~5年生それぞれの担当学年を決め、一人一人が役割と責任をもち応援歌の練習や振り付けの指導をがんばっていました。応援練習というと、1~5年生までが集まり、一部のリーダーが前で指導や指示を

するイメージですが、「〇年生担当」になるとすべての6年生がリーダーとなって取り組むよさがある
なと思いました。種目練習では、各学年とも趣向を凝らして楽しい種目になっています。

保護者や地域の皆様、お忙しいこととは思いますが運動会本番の5月31日(土)、子どもたちのが
んばりに大きな声援や拍手を送っていただくと喜びます。お待ちしております。



松江市立津田小学校 令和7年度学校経営について(案)

令和7年4月

校長 小林 敏朗



津田古志原夢きぼう学園

<松江市の学校教育プラン>

- ★確かな学力を育成するための教育の推進
- ★豊かな人間性を育むための教育の推進
- ★健康と体力を増進するための教育の推進
- ★松江市の特色を生かした教育の推進

<松江市小中一貫教育推進基本計画>

- 「地域の中で ともに学び ともに育つ 子どもたち」
～子どもたちの健やかな成長と
活力あるまちづくりに向けて～
- ◎学校・地域(校区)の教育課題の改善
 - ◎子どもたちの健やかな成長
 - ◎「ひとつづくり」「まちづくり」

1 学校教育目標

「未来を切り拓く 心豊かなたくましい津田っ子の育成」

2 めざす子ども像

○創造的に自ら学ぶ子(知) ○おもしろいのある子(徳) ○明るくたくましい子(体) ○最後までがんばる子(意)

3 学校経営方針

「子どもが主役の学校づくり」

- 安心・安全に生活できる学校・学級づくり
- 日々の授業づくりを中心に据えた学校・学級づくり
- 家庭や地域と連携し、信頼される学校・学級づくり

4 学校経営方針の具体 ～子どもたちが主役であるために～

- 安心・安全に生活できる学校・学級づくり
 - ・子どもと向き合う(聴く・受容する)
～子ども理解に努める(困り感に寄り添う・背景に目を向ける)
 - ・居心地のよい学級・学校、安心感のある居場所づくり・学びの基盤づくり
～3R(ルール・約束、リレーション、リフレクション)
～心理的安全性の高い学級・学年・学校経営
 - ・一人一人の自己肯定感を高める・育む
～一人一人のがんばりや伸びを認める、誉める
(結果より過程に目を向ける・一人一人に活躍の場を)
 - ・子どもたちの人権を大切にする教育の推進～全ての教育活動を通じて人権教育を基盤に
 - ・教職員からのあたたかい笑顔・姿勢・態度、言葉かけ、雰囲気づくり
～暴言・暴力・体罰、あらゆるハラスメント行為「〇(ゼロ)」
 - ・安全でいじめのない集団づくり～我々のアンテナを高く、常に磨き、そして情報共有・記録
 - ・不登校・不登校傾向の子どもたちへの組織的対応(外部機関との連携も視野に入れながら)
 - ・支援や個別の配慮を必要とする児童がいることを前提とした学級集団づくり
 - ・学年で学年全体の子どもたちを育てる～子どもを主語にして情報共有をする
 - ・子どもたち同士のつながりを大切にした異学年交流・学校行事・児童会活動
(関わる力・折り合いをつける力・成長をふりかえる・憧れをもつ)
 - ・学校内外の安全管理・安全指導の徹底～食物アレルギー対応、事故の未然防止等
- 日々の授業づくりを中心に据えた学校・学級づくり
 - ・「わかった!」「できた!」の音が響く授業づくり・学級づくり
 - ・主体的・対話的で深い学びの授業づくり
～教師が話す授業から子どもで進む授業へ～
 - ・「不易」(道徳教育、図書館活用など)と「流行」(ICT、メディア活用など)の両輪を大切に
した教育の推進
 - ・特別支援教育の視点からの授業づくり・学級づくり
 - ・授業改善、授業力向上を目指す教員
 - ・日々の授業づくりを通して、子どもと共に成長する教員集団～常に学びつつける姿勢をもつ
 - ・校内研修の充実・自己研修、自己研鑽
- 家庭や地域と連携し、信頼される学校・学級づくり
 - ・保護者の言葉をしっかりと傾聴する姿勢をもつ
 - ・保護者と共に考える姿勢をもつ
 - ・子どものよさや伸び、プラス情報を多く伝える
～日々の電話・連絡帳、学級通信、学年だより、学校だより、HPの更新等
 - ・地域とのかかわり、つながりを大切にする

津田小の合い言葉

「元気なあいさつ 明るい笑顔」